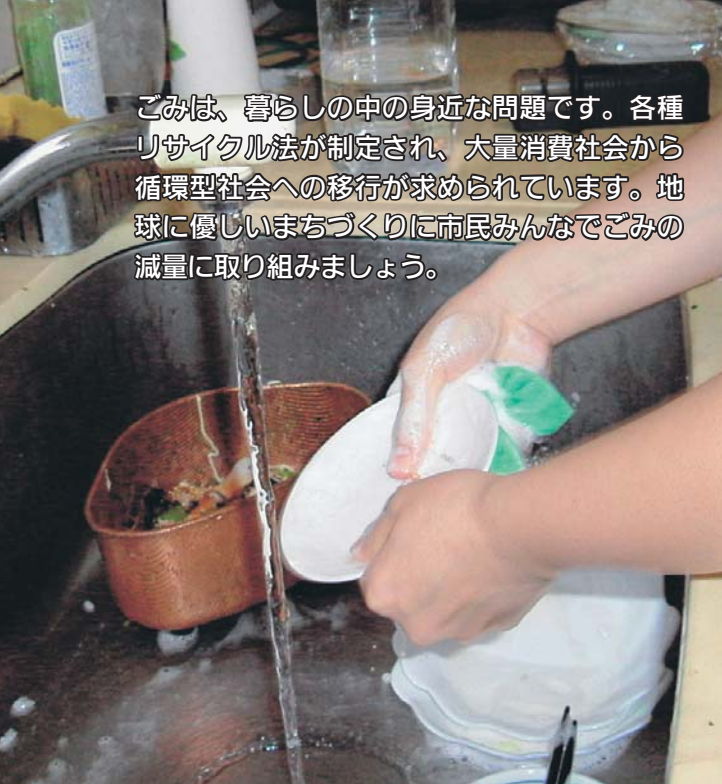
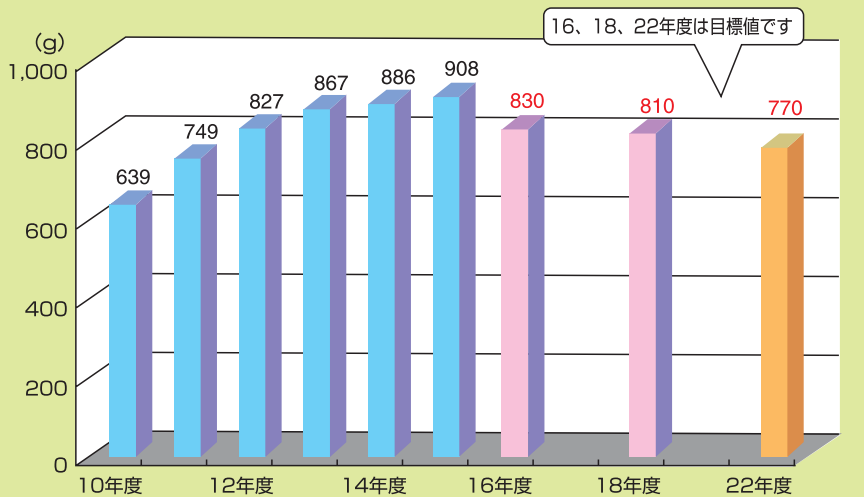


ごみは、暮らしの中の身近な問題です。各種リサイクル法が制定され、大量消費社会から循環型社会への移行が求められています。地球に優しいまちづくりに市民みなでごみの減量に取り組みましょう。



ゴミを減らして 住みよいまちへ

年度別可燃ごみ1日1人当り排出表

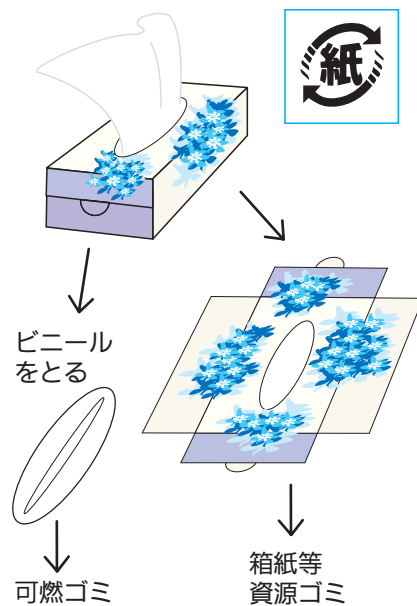


近年、可燃ごみは増加傾向にあり、その原因には「可燃ごみ」の中への「リサイクルごみ」の多数混入や水分含有量の多さがあります。可燃ごみ削減のために市では、1日一人当たりの可燃ごみ排出量を平成16年度830g、平成18年度810g、平成22年度は770gに削減する目標を設定しています。1日一人78gの減量をする市では1年間で約4000万円もの経費が削減できます。削減できた経費は他の事業等に有効活用されます。この削減目標達成のために、ごみ減量化を推進しましょう。

心がけること

1. ごみになるものを買わない
2. 徹底してごみを分別する
3. しっかりと水分を切る

●水分こいつん
現在、可燃ごみに含まれる水分の量は約40%もあります。水分が多いとその分、処理費がかかります。1日1人が水分を今までの10% (約36g) 削減すると、市全体では1年間で約1800万円もの経費が削減できます。



●雑誌等

雑誌等には、本・雑誌・チラシ・空き箱・コピー用紙・紙袋などがありますが、ティッシュの空き箱や窓付き封筒(ビニール部を取る)、お菓子やレトルト食品の空き箱、ハガキ(写真入りのハガキは可燃ごみ)も出すことができます。そのほか次のマーク入りのものは雑誌等資源物になります。

ごみ減量のワンポイント